



文武両輪

～学習も行事も部活動も～

令和4年6月27日

【文責】校長 蔦川 誠

「市中体夏季大会を終えて」

選手の皆さん、3日間にわたる試合や競技への参加、本当にお疲れさまでした。

見事に勝ち抜いて県大会出場を果たした皆さん、おめでとうございます。今度は、八戸市の代表となります。県大会では、思いっきり戦ってください。

今回、私は会場に行って、たくさんの競技を応援することができました。どの競技でも、限界まで力を出し切る姿を見ることができました。足がつりそうになってもけがをしても最後まで戦い抜く姿、点差が開いても最後まで走り続ける姿、どの姿も本当に胸を打つものでした。3年間努力してきたことが、選手一人一人の「あきらめない、最後まで戦う姿」にしっかりと表れていたと思います。試合が終わって、涙を流す姿に、悔しさと同時にやり切ったという思いも感じるすることができました。

それでは、皆さんに伝えたいことをいくつかお話しします。

1つ目は、「今までのことを振り返ってみること」です。

「勝負は時の運」ということわざがあります。「勝ち負けはその時の運によるもので、実力のある者が必ずしも勝つとは限らない」という意味です。今回、残念ながら、目標を達成することができずに負けてしまっても、少しも気を落とすことはありません。夏季大会で、皆さんが精一杯戦ってきたこと自体が、素晴らしいことです。特に3年生は、3年間の苦しい練習を乗り越えてきたことで、一回りも二回りも大きく成長したはずで

す。今一度、3年間の部活動を通して、自分はどのようなところが成長することができたかを振り返ってみてください。成長したことは、これからの生活において大きな自信につながっていくはずで

2つ目は、「次の目標へと切り替えること」です。

3年生は県大会等に出場する人以外は、「一区切り」となりました。部活動は引退となっても、この後も合唱コンクール、体育祭、文化祭等の大きな行事があります。そこでも、1・2年生をリードする場面があります。今度は部活動ではなく、学習や行事での活躍が期待されます。一方、1・2年生の皆さんは、3年生の先輩たちの戦いぶりをしっかりと目に焼き付けてきたことと思います。そこで感じ取った先輩たちの思いをしっかりと受け止めて、新しいチームづくりに生かしてほしいと思います。

それぞれの立場で、次の目標を立てて、達成に向けて力を尽くしてほしいと思います。

3つ目は、「支えてくれた人に感謝すること」です。

今まで、皆さんのことを温かく時には厳しく指導してくれた、顧問の先生、コーチ、そして、一番身近で一番応援してくれた、お父さんやお母さんなどの家族には、「ありがとう」という言葉を伝えてください。きっと、皆さんの成長をととても喜んで、誇りに思っているはずで

最後に、応援生の皆さんにお話しします。

今回は残念ながら声は出せなかったけれども、皆さんの全力の応援は選手の心にしっかりと届いて勇気づけてくれました。その姿は立派でした。（夏季大会結果報告会講話から）

各部の部長の「結果報告」を紹介します。

陸上競技部 部長 長岡 一嬉

思うような結果を出せなかった人もいましたが、御指導して下さった顧問の先生方、応援して下さった皆さん、支えて下さった方々のおかげで、精一杯頑張ることができました。今回学んだことを県大会や通信陸上大会で生かせるよう努めてきます。

野球部 部長 庭野 快風

野球部は一回戦で大館中に8-0で勝利し、二回戦の市川中に3-5で敗れてしまいました。これで中学校野球は終わりにりましたが、今まで蹴揚先生に学んだことを生かして、残りの学校生活を過ごしていきます。

サッカー部 部長 豊川 悠稀

結果は3位で目標は達成できず悔しい結果となりましたが、強い気持ちを持ち粘り強く戦うことができました。意義のある市中体にすることができました。無失点で守ることができたのは皆さんのおかげです。三日間の熱い応援、ありがとうございました。

柔道部 部長 田村 優雅

県大会に4名出場することができました。市中体を振り返ると、改めて仲間の大切さを学ぶことができました。これから、県大会に向けて良い成績を残せるよう頑張ります。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

剣道部 部長 高森 大和

女子個人戦で1名がベスト4に入り、県大会出場を果たしました。優勝こそできませんでしたが、仲間と共に良い試合をすることができました。応援してくださった保護者の方々、御指導くださった先生方、本当にありがとうございました。

男子バスケットボール部 部長 田守 柊雲

男子バスケットボール部は、一回戦で湊中に82-48で勝利し、二回戦の大館中には50-84で敗れてしまいました。市内優勝という目標は達成できませんでしたが、全力を尽くすことができました。応援ありがとうございました。

女子バスケットボール部 部長 河村 凜音

女子バスケットボール部は、一回戦で東中に41-70で敗れてしまいました。3年生はここで引退という悔しい結果になりましたが、このチームで最後まで戦い続けることができました。今まで支えてくれた方々に深く感謝しています。

バレーボール部 部長 板橋 七海

バレーボール部は、一回戦で小中野中に0-2で敗れてしまいました。自分たちらしく全力で粘り強いプレーをすることができました。1・2年生には、私たちが越えられなかった壁を乗り越えられるように頑張りたいと思います。

卓球部 部長 石山 京

女子個人戦では馬場さんが優勝し、男子個人戦ではベスト4が1名、ベスト8が1名、ベスト16が1名で、合計4名が県大会に出場することになりました。残念ながら、団体は男女とも県大会出場は叶いませんでした。県大会でも頑張ります。

吹奏楽部 部長 楠本 舞弥

吹奏楽部、サッカー部と野球部の応援に行ってきました。会場ではソーシャルディスタンスをとりながらも、自分たちのできる形で一生懸命に応援できたと思います。選手の皆さんお疲れさまでした。

総合文化部 部長 斎藤 希

総合文化部は、応援団としてサッカー部と野球部の応援に行ってきました。拍手やペットボトルを叩くなどの応援しかできませんでしたが、目標である「選手に全力のエールを届ける」を達成できたと思います。選手に皆さん、大会お疲れさまでした。

(一部抜粋・修正は筆者)